

科目名	仏教学講読演習 E			学期	前期	単位数	2	担当者	前谷彰
副題	スッタニパータ								
ナンバリング	M3-02-295	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	1

授業の目的と概要

『スッタニパータ』の講読を通して、ブッダの肉声に迫り、仏教思想の根幹を学んで行く。

授業の到達目標

仏教思想の基本を、仏教における最古の経典と目されている『スッタニパータ』の講読を通して理解できるようになる。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 『スッタニパータ』という経典について解説する。
3. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。①（蛇の経）
4. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。②（犀の一角の経）
5. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。③（いやしい人の経）
6. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。④（慈しみの経）
7. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。⑤（慈しみの経）
8. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。⑥（なまぐさの経）
9. 『スッタニパータ』から重要な経を選択し、講読・解説する。⑦（戒めの経）
10. 『スッタニパータ』コラム1を読んで解説する。（コラム・自灯明）
11. 『スッタニパータ』コラム2を読んで解説する。（慈悲）
12. 『スッタニパータ』コラム3を読んで解説する。（中道）
13. 『スッタニパータ』コラム4を読んで解説する。（非我）
14. 『スッタニパータ』コラム5を読んで解説する。（縁起）
15. 総まとめ

準備学習（予習・復習）・時間

事前学修としてテキストを読み、専門用語の意味を理解しておくこと。（60分）

事後学修として授業で学んだことを復習する（60分）

テキスト

担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等

前谷彰訳・解説『ブッダのおしえ』（講談社）

学生に対する評価

学期末のレポート（70%）と、授業時の意欲や問題意識をどれだけ持っているか（30%）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- (C) 仏教の基礎語彙を抑えている。
- (B) 仏教の基礎語彙を歴史の流れに沿って説明できる。
- (A) 「縁起」「慈悲」「中道」「非我」のメカニズムを説明できる。
- (S) 仏教思想を現代の諸問題に応用し、説明することができる。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法は授業の中で指示する。

その他

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）